

# 自主的・協働的に学ぶ

## 第5回授業研究会



9月30日（金）、今年度5回目の校内授業研究会を行いました。お招きした講師の先生は、井上 一郎先生（元文部科学省教科調査官・前京都女子大学教授）、永池 啓子先生（元本校校長・北部学校教育事務所授業改善支援員）の2名の方々です。

事後研究会は教科ごとに分散して行い、講師の先生方からご指導をいただきました。主体的、対話的な学びを通して、より深い学びとなるような授業改善をこれからも考えていきたいと思えます。

### 6年1組 体育

#### 単元名

「High Jump で目指せ新記録!合言葉はターンターンタターン!～白幡6の1走り高跳び選手権大会～」

一人ひとりが自分の動きを、走り高跳びのポイントや手本の動画、友達動画と比べて課題を見出し、記録に挑戦しました。練習中は、チームで取り組み、お互いの動きを見合い、助言し合って走り高跳びの動きを高めました。



最初は足を伸ばさずにバーを跳んでしまったり、助走のリズムやどこから助走を始めればいいのか分からなかったりして、上手く跳ぶことができなかった。でも、課題解決のために学習カードから練習方法を選んで練習を重ねていくうちに、助走の感覚がつかめたり、足を伸ばしてバーを跳ぶことを意識したりできるようになった。

### 4年2組 理科

#### 単元名

「パワーの異なる水鉄砲の謎を解決して、4年2組水鉄砲大会を楽しもう」

クラス集会で行った水鉄砲大会を通して、一人ひとりが問題を見出し、学習計画を立てました。解決したいことが同じ友達同士で集まって、予想を立てたり、実験方法を考えたりして繰り返し問題解決をしながら学習を進めました。



今日のぼくのめあては考察を出し合うことだったけど、考察を出し合うことはできませんでした。理由は、空気が縮まるかどうかについて、みんなで結果を確認し合った時にKさんは「縮まらない」と言っていて、僕たちは「縮まる」と言っていて、そこから解決できなくなったので、他のグループの人に聞いたり、Kさんの予想を振り返ったりしたけど解決できなかったからです。解決できなくてもみんなで相手の話を聞いて、話合いができたので、そこは良い学習になったかなと思います。